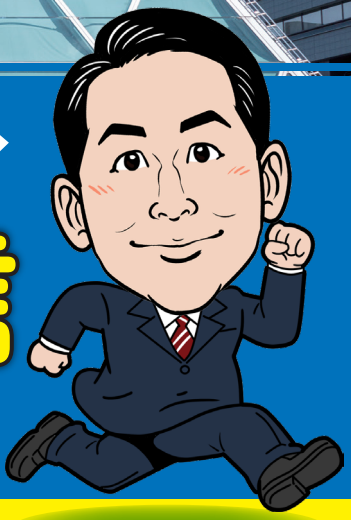
【発行】2025年09月01日

さいたま市議会議員 てるきな弘志（ひろし）の Vol.28

てるきな通信



KOMEITO 公明党 さいたま市議会議員団
【発行責任者】てるきな弘志
さいたま市中央区下落合4-10-14-401

令和7年6月定例会（6月11日～7月4日）のご報告

さいたま市議会6月定例会が24日間の会期で開かれ、物価高対策へ向けた補正予算、議員提出議案として提出された手話言語条例、公明党市議団から提案された核廃絶に向けた意見書などが審議されました。

「物価高対策に向けた提言」を市長に提出！

提言が反映された施策

1.家計負担軽減策の実施

◆18歳以下の児童一人につき1万円の給付

スケジュール▶▶▶
8月下旬…児童手当受給者へ支給
9月下旬…その他対象者の申請受付

◆デジタル地域通貨・ポイント還元キャンペーン

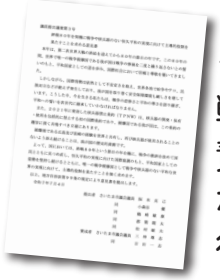
スケジュール▶▶▶
8～9月……第1回ポイント還元
11月……第2回ポイント還元
9月～R8年1月…ポイント利用期間

提言が反映された施策

2.質や量を保った学校給食の提供

◆米の価格上昇を踏まえた支援

終戦80年を契機に戦争や核兵器のない恒久平和の実現に向けて主導的役割を果たすことを求める意見書



戦後80年を迎えるにあたって、公明党市議団は唯一の戦争被爆国である我が国の責務として、戦争と核兵器のない世界へ向けて主導的な役割を果たすことを国に求める意見書を提出し、全会一致により議決されました。

手話言語条例が制定！

きこえない・きこえにくいため日常的に手話を使う「ろう者」は、全国に少なくとも5～6万人いるとされています。2006年の国連総会で採択された障害者権利条約で、手話は言語のひとつだと定義されています。

本市においても、昨年、超党派でのプロジェクトチームが結成。議論が重ねられ、一定の成果がみられたことから、ようやく本定例会において条例案が提出され、賛成多数により議決されました。

市民生活委員会での議案外質問より

本定例会より所属となった市民生活委員会にて、環境、消防、防犯、交通安全など、議案外質問を行いました。具体的な取り組みとして実現できた取り組みも含めて紹介いたします。

地球温暖化対策へ市民が取り組める行動について

取り組みが前進！

2月定例会で提案した家庭の太陽光発電で自家消費された再生可能エネルギーの環境価値を、国のJ-クレジットを通じて売買可能な価値として集約する取り組みについて、12月1日から開始する予定となりました。2年以内に太陽光発電を設置した家庭が対象となります。電子申請サービスで事前登録ができます。

詳細はコチラ

消防団活動支援について

取り組みが前進！

出場指令、動態管理、消防水利の位置表示、出動報告書の自動作成などの機能を有する消防団活動支援アプリFireChiefの導入に向けて、9月にテスト運用を行い、10月から本格運用を開始する予定となりました。

さらに、アプリの導入に合わせて、消防団車庫のネット環境を整備すべきであると主張し、消防団の意見も伺いながら検討を進めてまいりたいとの答弁が示されました。

防犯グッズの補助について

闇バイトに関連した強盗事件など市民を危険から守るために、家庭用防犯カメラをはじめとする各種防犯グッズ（カメラ付インターフォン、防犯フィルム、センサーライト、サムターン、面格子、防犯砂利など）の助成をさいたま市としても検討すべきでないかと主張。市民生活部長は他都市の取組事例を調査し、検討を進めてまいりたいと答弁しました。

電動キックボードの交通安全について

2023年の道路交通法改正で導入が認められた電動キックボード（特定小型原動機付自転車）の交通事故の実態と今後の対応についてお伺いしました。

埼玉県内の検挙件数は令和6年が14件、令和7年5月末時点で6件。ホームページの他、ナンバー交付時に利用時の注意点や交通ルールを示したチラシを配架し、周知に努めています。

自転車の交通安全について

道路交通法の改正により、2026年4月より自転車にも交通反則通告制度（通称　青切符制度）が適用され、ながら運転、信号無視、逆走や並進走行などの反則行為に対し、反則金が課されることになりました。市民への周知徹底、交通安全対策についてお伺いしました。

高齢者を対象とした自転車安全利用講習の実施（対象65歳以上、参加者には自転車ヘルメット購入費用補助が受けられます）、合わせて、SNS、ホームページ、市報などで広く周知してまいります。

自転車講習についての詳細はコチラ

KOMEITO 公明党 さいたま市議会議員団
てるきな弘志

皆様のご意見・ご要望をお気軽にお聞かせ下さい。
http://terukina.net　☎048-857-8065
voice@terukina.net